

会員拡大・研修委員会 基本方針（案）

会員拡大・研修委員会 委員長 田中 徳晃

1 昨年65周年という一つの節目を迎えた一般社団法人佐賀青年会議所は今もなお会員数
2 の減少という課題を抱えています。このような情勢でも、我々は明るい豊かな社会の創造
3 に向け、活動運動を推進していくことが求められ、その原動力として全会員で拡大に取り
4 組み、メンバーの資質向上を目指し、組織を強化していく必要があります。

5 まずは、人財を発掘し会員拡大につなげていくために、候補者の情報を収集し共有・連
6 携できる体制を整え、会員拡大について学べる場を設けることで、メンバー一人ひとりの
7 拡大への意識を高め、ともに行動する仲間を増やしていきます。そして、佐賀の青年団体
8 としてより一層効果的に展開していくために、会員拡大・研修委員会が率先して佐賀青年
9 会議所の魅力を発信していくことで、会員拡大につなげます。さらに、仮会員を正式入会
10 へと導くために、現役メンバーとのコミュニケーションを取る場を設けることで、相互の
11 理解と友情を深め、今後につながる信頼関係を築き上げます。また、仮会員の参加意欲や
12 絆を高めるために、メンバー同士の対話を大切にする研修をし、仲間と共に青年会議所の
13 輪を広げる活動へとつなげます。そして、メンバーが青年会議所の魅力や意義について再
14 認識するために、運動の意義について学び直す場を作ることで、青年会議所の活動の取
15 組み意識を高めます。さらに、地域発展の為に第一線で活動をし、数々の功績を残してこ
16 られた卒業生に感謝の気持ちを伝えるために、精一杯の労いの心を込めて卒業生を送る会
17 を開催することで、卒業生と現役メンバーの親睦を深めます。

18 決まった時間の中で、佐賀青年会議所の魅力をわかっていただき、時代に合わせた会員
19 の資質向上を行うとともに、我々は「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、「銀鱗躍動」
20 のように地域で勢いよく輝き続ける団体を目指します。

21 [事業計画]

- 22 1. 新入会員研修の企画・運営（通年）
- 23 2. 現役会員研修の企画・運営（6月）
- 24 3. 厄入厄晴の企画・運営（2月）
- 25 4. 例会の企画・運営（2月・6月・12月）
- 26 5. 九州コンファレンス（糸島）参加者への支援（8月）
- 27 6. 卒業生を送る会の企画・運営（12月）
- 28 7. 会員拡大 拡大目標 委員会8名（全体40名）（通年）
- 29